

北海道高校家庭クラブ連盟研究大会 洞爺高と小林さん(同2年)が最優秀賞受賞

9月15日から2日間にわたって洞爺総合センターで、北海道高校家庭クラブ連盟研究大会(主催北海道高等学校家庭クラブ連盟)が開かれ、洞爺高校と個人発表部門の同校2年の小林碧帆さんが最優秀賞を受賞し、初のW受賞となりました。

初日の15日には、個人発表のホームプロジェクトの部が行われ、5校が参加。

小林さんは、小学生の弟とお菓子作りや夕食作りなどを通じて、弟との距離が縮まり、成長していく過程も垣間見えたことなどを発表しました。

審査員評では「愛情にあふれた実践内容と家庭の絆をつか



最優秀賞の小林碧帆さん

わせる」との意見が述べられました。

16日の学校家庭クラブ活動の部の発表では、6校が参加し、

地産地消や環境問題などをテーマに活動報告を行いました。

洞爺高は、エコプロジェクトの活動として、デザインや使いやすいさも考えた

エコ石鹸やエコバッグなどの環境関連商品のほか、地産地消費品の開発などを紹介し、販売実習での町民との交流を報告しました。審査員からは「環境に関する保全意識がしっかりしている。環境だけでなく、消費者ニーズに応える製品づくりがうかがえる」と高い評価を得ました。

小林さんは「自信がなかった



喜びいっぱいの洞爺高の皆さん

ので、びっくりしました」と喜びを語り、プロジェクトのリーダー鈴木一輝君(3年)は「大きな賞を受賞できてうれしい。高校生活の良い思い出ができました」と満面の笑みを浮かべていました。

小林さんと同校家庭クラブは、来年7月全国大会へ出場することになっています。

全国のウォーカー 洞爺湖の自然を満喫 北海道ツーデーマーチ

9月18日、19日の両日、秋の洞爺湖を巡る北海道ツーデーマーチが開かれ、今年も全国から1、570人が参加し、健脚を競い合いました。



力強く歩を進める全国のウォーカー

初日は、強い日差しを浴びながら朝7時に大会最長コース「洞爺湖ぐるっと1周コース」(40キロ)の参加者400人がスタート。引き続き「洞爺湖・豊浦パノラマコース」を始め2コースの参加者が元気に出発し、洞爺湖の自然を満喫しながらゴールを目指しました。

2日目は、早朝からの雨も上がった朝7時に「伊達・有珠ぐるっと1周コース」(30キロ)と「壮瞥・北の湖記念館コース」(20キロ)の368人が同時にスタートし、その後「洞爺湖中島コース」「西山火口散策コース」の参加者が出発。雨上がりの洞爺湖の清涼な空気を吸いながら参加者はウォーキングを楽しみました。